

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年6月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

6月2日[銃撃事件] 午前4時30分頃、ベリーズ市ヨーク通りの民家付近において、住民の男性（59歳）が銃撃され、死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性は仕事へ出かけるために自宅を出たところ、不審な男性が近づき複数回発砲され。通報を受けた警察官が現場へ駆けつけたところ、自宅の前で倒れている被害男性を発見し、その後、KHM病院へ搬送したが死亡が確認された。警察はこの事件について、捜査を続けている。

6月2日[銃撃事件] 午後11時頃、ベリーズ市ニューロードの車両検問所において、職務中の警察官が銃撃される事件が発生した。警察によると、事件の発生した検問所に配置されていた警察官の同僚から無線機で通報があり、付近の通りで銃声が出たと知らせた。その後、検問所に車両に乗った不審な男性が現れ停止を命じたところ、突然、複数回発砲した。銃撃を受けた警察官はすぐさま応戦し、この男性を押さえこんだ。幸いにも、銃撃された警察官は無傷であった。

6月13日[銃撃事件] 午後11時30分頃、ベリーズ市のマスカル通りにおいて、銃撃事件が発生した。警察によると、銃撃事件の通報を受けて現場へ到着した警察官が、銃撃により負傷した男性（26歳）を発見した。この男性は警察によりKHM病院へ救急搬送され、治療を受けている。警察は、男性の回復を待ってから詳しい事情の聞き取りをする予定である。

6月14日[銃撃事件] 午後9時頃、カヨ郡カマロッテ村において、男性（21歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、銃撃犯は男性の自宅に押し入り、男性に向けて10発以上の銃弾を発砲し、銃撃犯は逃走した。被害男性は、駆けつけた救急隊の処置にもかかわらず、その場で死亡が確認された。現場に到着した警察官により、周辺の捜索が行われて、同じ村に住む容疑者2名を拘束した。

6月18日[銃撃事件] 午後11時50分頃、トレド郡プンタゴルダ町のウェスト通りにおいて、男性が左肩を撃たれる銃撃事件が発生した。警察によると、帰宅途中の被害男性のところへ自転車に乗った不審な男性が近づき、突然発砲した。銃撃犯はそのまま逃走し、被害男性は南部地域病院へ救急搬送され治療を受け、容態は安定している。通報を受けた警察官が捜査を続けている。

6月22日[銃撃事件] 午前7時30分頃、カヨ郡サンイグナシオ町のバニラ・ヒルズ付近

のバレットツリー道沿いの住宅において、男性（60歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は地元では有名な不動産業者で、自宅のベランダにいたところ上半身を3発撃たれりビングに倒れた。その後、到着した警察官に死亡しているところを発見された。警察は事件の詳細を捜査するとともに、地域のパトロールを強化している。

## [強盗事件・窃盗事件関連]

6月8日[窃盗事件] 午後7時頃、ベルモパン市ヤングバンク地区において、男性（34歳）が警察に拘束された際に金銭を盗まれる事件が発生した。報道によると、男性はベリーズ銀行付近を自転車で移動中に交通違反をしたとして警察に呼び止められ、近くの建物の裏へ連行され身体検査を受けた。男性はこの時にBZ\$11（約800円）を不当に盗まれたと主張し、その後、警察の捜査により身体検査を行った警察官の所持品から盗んだと見られる現金が発見され、男性へ返金された。さらに多額の現金が盗まれたかは現在も捜査中である。

6月14日[強盗事件] 午前10時頃、オレンジウォーク郡オレンジウォーク町のサンアントニオ通り沿いの家電販売店「KABテクノロジーズ」において、強盗事件が発生した。警察によると、ヒスパニック系とみられる男性が拳銃を持ったまま店内に入り、店員へ現金と携帯端末を要求した。強盗犯はショーケース内にあった携帯端末を6台盗み、逃走した。店員に怪我はなく、現在、警察による捜査が行われている。

6月15日[強盗刺傷] 午後8時30分頃、ベリーズ市アンテロープ通りの住宅において、強盗犯に刺される事件が発生した。警察によると、被害男性が自宅でくつろいでいたところ、見知らぬ男が外から被害者を呼んでいることに気がついた。この見知らぬ男はトイレを貸してほしいと頼んできたため、被害男性は自宅の玄関を開けたところ、男は突然ナイフを取り出し現金を要求した。強盗犯と被害男性はもみ合いとなり、被害男性は体の数カ所を刺された。その後、強盗犯は諦めて逃走し、被害男性は治療を受け容態は安定している。

## [違法薬物・違法銃器類関連]

6月2日[違法薬物の密売] 午前8時45分頃、ベリーズ市ウェスト・カナル地区において、建設作業員の男性（24歳）が販売目的の大麻を59グラム所持していたため、逮捕、起訴された。警察によると、違法薬物を所持している不審な男性がいるとの通報を受け、付近をパトロール中、通報のあった容疑者の特徴と合致する、自転車に乗った男性を発見した。警察から停止命令を受けた男性は逃走を試みたが、すぐに拘束された。同月4日、男性は地

方裁判所へ出廷し、B Z \$ 8 0 5（約6万円）の罰金刑を命じられた。

6月3日【**違法薬物の密売**】 午前8時頃、ベリーズ郡レディビル村において、この村に住む2人の女性（ともに52歳）が販売目的の大麻を17ポンド（約7kg）所持していたため、逮捕された。警察によると、オレンジウォーク町で勤務を終えた警察官が乗車していたバスが給油の為に同村に停車し、乗客が際に乗り込んできた際、大麻の強い匂いを感じた。警察官が車内を捜索したところ、2人の女性客の荷物から大麻の入った透明な袋を発見した。その後、女性らは逮捕、起訴された。

6月12日【**違法薬物の押収**】 午前9時頃、ベリーズ市のイグアナ通り沿いの住宅において、規制薬物が摘発、押収された。警察によると、同地域のパトロールに随行していた警察犬が同宅に対して強い反応を示したため家宅捜査したところ、27グラムの大麻を発見した。この家に住む6人が違法薬物所持違反で現行犯逮捕され、起訴された。

6月18日【**違法薬物の密輸**】 正午頃、米国ニューヨーク在住のアメリカ人男性2名が、規定量以上の大麻を持ち込んだとして逮捕、起訴された。警察によると、観光のためにベリーズへ訪れた被告らは、フィリップ・S・W・ゴールドソン国際空港での検査の際、規定量10グラムに対し、37グラムの大麻を持ち込んだため逮捕、起訴された。被告らは近隣のレディビル警察署へ拘留後、地方裁判所へ出廷し、自身らの罪を早期に認めたため厳罰を免れた。被告らには、合計でB Z \$ 3, 0 0 0（約22万円）の罰金刑が科せられた。

6月19日【**違法薬物の密輸**】 正午頃、米国アラバマ州モンゴメリー在住のアメリカ人女性（45歳）が規定量以上の大麻を持ち込んだとして逮捕、起訴された。警察によると、観光のためにベリーズへ訪れた被告は、フィリップ・S・W・ゴールドソン国際空港での検査の際、規定量10グラムに対し、38グラムの大麻を持ち込んだため逮捕、起訴された。被告は近隣のレディビル警察署で拘留後、治安判事裁判所へ出廷し、自身の罪を早期に認めたため厳罰を免れた。被告にはB Z \$ 1, 5 0 0（約11万円）の罰金刑が科せられた。

6月25日【**違法薬物の押収**】 正午頃、ベリーズ市キングスパーク地区の住宅において、大規模な違法薬物の摘発、押収された。警察によると、クイック・レスポンス・チーム（QR T）と特別捜査班の合同チームが同地区の捜査をしていたところ、パトロールに随行していた警察犬が同宅に対して強い反応を示したため家宅捜査を行った結果、この住宅から合計で71kgもの違法薬物を発見した。警察はこの家で麻薬の梱包作業をしていた女性（24歳）を現行犯逮捕、起訴した。この女性は元コールセンターの職員で、違法薬物を販売する目的で所持していた。この事件について、警察は捜査を継続している。

## [その他事件・事故関連]

6月9日[**婦女暴行事件（当館注目）**] 午前2時頃、ベリーズ郡キーカーカー村において、英国人観光客の女性（22歳）が暴行される事件が発生した。警察によると、被害女性は友人らと同村のナイトクラブで交流後、ホテルへ戻って就寝していた。その後、見知らぬ男性がホテルの部屋へ侵入し、この女性を暴行した。被害女性が感染症検査と治療のため病院を受診したため事件が発覚し、警察による捜査が行われている。